



# 学校だより

12月号(第03-09号)

TEL : 591 - 4183

令和3年12月24日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

## デジタル・シティズンシップ教育

高田園のクリスマスリース



デジタル化、ネットワーク化、グローバル化が進み、DX（デジタル・トランスフォーメーション）と共に膨大な情報があふれ、あらかじめ予測がつかない事柄が起きる時代は既に現実です。子どもたちの周りには、幼い時からスマートフォンなど様々なデジタル・デバイスが有り、Twitter、

Instagram、Facebook、LINE、TikTokなどのSNSやオンラインゲーム、YouTubeも生活に入り込んできているのも事実です。このような時代、情報へのアンテナを高く張り、自

分の頭で考え、正しく判断し、人と適切にコミュニケーションをとり、互いの行動や考え方感じ方の違いを理解しあうことが大切です。その上で更に、ICTの賢い使い手となって自分の頭で考え責任をもって安全に、効果的な方法でテクノロジーを使える、そのような力を育むことが求められています。

インターネットは危険なことでも悪いことでもなく、上手に使うことで私たちの可能性を広げたり、生活を充実させてくれたりと大きな価値があります。インターネットやスマホの危険性を教え、使用を禁止したり制限したりするなど個々の安全な利用を学ぶといったこれまでの「個人のモラル教育」を否定するものとは異なり、デジタル・シティズンシップ教育は、これまでのモラル教育を包含しながらもある意味新しく、善き社会を創る市民そしてデジタル市民を育むことを目的とした「パブリックなモラル教育」ともいわれています。

12月に2回、『デジタル・シティズンシップ』の著者の一人である今度珠美先生から2年生にデジタル・シティズンシップ授業を実施いただきました。「デジタル・シティズンシップ教育ははじめの一步」です。情報処理推進校として、教職員と悪戦苦闘しながら一歩ずつGIGAスクールの取組を進めている当校ですが、子どもたちが「ICT技術力」をつけるだけでなく、「優れたデジタル市民として幸せな人生を歩んでいける力」を育むための取組にも半歩ずつでも、3歩進んで2歩下がりがつつ（若い保護者の方には通じますでしょうか？）でも、少しずつ取り組んでいきたいところです。

## 【1年生キャリア学習】

11月25日（木） 3時間を使ってキャリア学習が行われました。

4校時は東洋水産の方による、「だしの秘密」の話。

企業が活動をしていくうえで、消費者のニーズにどうやって応えていくのか、また、地域性にはどんな違いがあるのかなどを教えてもらいました。残念ながら、それぞれのだしを飲み比べることはできませんでしたが、「赤いきつね」の4つの味がプレゼントされるときくと、大きな盛り上がりを見せました。もうすでに、食べ比べはしてみたでしょうか？これからも



東洋水産の方とは連携しながら、キャリア学習を進めていきます。消費者のターゲットを決めて、どのような商品を開発して、どのように見せれば興味を持ってもらえるかなど、高田祭で2年生が発表してくれた内容を今度は自分たちで行うこととなります。いろいろな視点で物事を見る力を伸ばしていけるといいなと思います。

5・6校時は、6つに分かれて講師の方が、それぞれの仕事の話をしてくださいました。業種としては「製造」「介護・福祉」「建設」「保険」「美容」「医療」の分野の方です。この中から、事前に希望調査をとった結果から、2つの業種の話をお聞き、社会とのつながりを学んでいくことができました。



それぞれの講話ごとに、司会者・はじめの言葉・講師の方への質問・お礼の言葉・講師の方の案内などの役割を分担しました。担当した一人一人が自分の役割にしっかりと取り組むことができ、また、講師の方の話をみんなしっかりと聴くことができました。講師の方からは、聴く態度が素晴らしいとお褒めの言葉をいただいています。今年度はビデオを見たり

話を聴いたりして、職業について

学んでいます。この経験を活かしながら、これからは自分が就きたい職業を見つけていってほしいです。単なる「あこがれ」として職業を考えるのではなく、その職業のやりがいや辛さ、その職業に就くにはどんな力が必要かなどを知ることで、自分の未来を考えていくための経験となってくれることを願っています。 （1学年主任 山田～学年だより「White Canvas」より）



## 【マルちゃんオリジナルカップ麺をつくろう授業～プロのデザインを学ぶ】

2年生代表となった2つの商品「塩ラ～メン」と「貴夫人ラーメン」の生徒デザインパッケージを、凸版印刷プロのデザイナーが、①生徒デザインを忠実に生かした版、②プロのノウハウを反映した提案版の2つに、

リデザインしてきて下さいました。生徒プレゼンあり、キャリア講義あり、ワークありの楽しい時間でした。

授業のあと2人の代表生徒は「クライアント」として、凸版印刷&東洋水産社員様と別途会議室にて「最終的に試供品をどういうデザインにしたいのか」について打合せを行いました。

遠慮がちな2人に「クライアントなんだからどんどん要望を言っているんだよ。実際もそうだから。」と実社会の様子も教わることができました。



## 【2年生国際理解教室】

12月9日(木)、2年生の英語の授業で国際理解教室を行いました。中国・タイ・エジプト・タンザニア・ロシア・バングラデシュの講師の方が来校し、各クラス6グループに分かれて英語で話をしました。事前に学校・国・文化の3つのテーマの中からグループごとに一つ選び、どんな質問をするか、日本について何と伝えたらよいかみんなで少しだけ考えて、当日に臨みました。

講師の方々は食べ物や有名な場所の写真などを見せてくれたり、わかりやすい英語で話をしてくれたりしたので、どのグループも盛り上がり、あっという間の1時間でした。最後に講師の方から生徒のよかったところについて、全員が英語で話せたこと、英語が苦手な生徒がいてもお互いに助け合ったりほめあったりして楽しく話を進めることができたこと、メモなどを見ずに話の流れから自然な英語を話す生徒が多くいたことなどが挙げられました。ここで、生徒の皆さんの振り返りを一部ですが、紹介します。

- 1組** ・講師の方々はとてもユーモアのある人たちばかりで、ジョークも交えて話すことができて、とても楽しかった。
- ・もう少し英語を話せるようになりたいと思った。せめて話せなくても、言うことは理解できるようになりたいと思った。
- ・それぞれの国によって英語の話し方も少し違って、色々な話し方に触れることができてとても楽しかった。



- 2組** ・色々な国の文化を学ぶことができて楽しかったし、違う言語を使う国の人同士が英語を通じて理解し合って会話しているのが不思議でした。
- ・テーマについて話をしていく中で、「It's the same.」と嬉しそうに言ってもらえたり、比較をしてくれたりして、理解を深めることができた。
- ・他の国の方と話すのは面白いと改めて思ったし、少しの単語でも伝えることができるので、もっと関わっていきたいと思いました。



- 3組** ・どの国の人とでも英語でコミュニケーションすることで、色々なことを伝えあえるということを実感しました。
- ・文化について話していた時、日本では当たり前のことが他の国だと当たり前じゃないなどの文化の違いもおもしろくて、より深く知ることができました。
  - ・これまでの英語の授業で習ったことを活用して、しっかりコミュニケーションをとることができたので普段の活動がいきていると思いました。



## 【港北区個別支援学級交流会】

12月8日は高田中学校が会場校の港北区個別支援学級の交流会でした。感染症が拡大している時は全く他校との関わりがもてなかったため、今回の交流会は1年半ぶりでした。そのため、5、6組の生徒たちは不安と楽しみが混ざり合ったなんとも言えない気持ちで当日を迎えました。今回は近隣校のみの交流会で、日吉台中学校と日吉台西中学校が本校に来てくれました。交流会では、三校の生徒が混ざり合った班を4つ作り、班対抗のポッチャを行いました。皆ポッチャに夢中になり、初めて出会った他校の生徒ともコミュニケーションをとりながらとても楽しそうに活動していました。次回の交流会は2月に実施予定です。

その時にはさらに交流を深めることができればと思います。

(個別支援学級担任)



## 【年末の連絡先 そのほか】

**12月27日(月)から1月5日(水)**の期間、学校閉庁日となっております。**この期間の緊急の場合、またはお子さまの新型コロナウイルスの陽性判明**については、次のとおりにご連絡をお願いします。

①**12月27日(月)、28日(火)、1月4日(火)、5日(水)**

【緊急連絡先電話番号】

北部学校教育事務所指導主事室 電話944-5978

平日 8時30分～17時15分

②**12月29日(水)～1月3日(月)**

**1月4日(火)以降**に北部学校教育事務所指導主事室 電話944-5978

※1月6日(木)は高田中学校をお願いします。(8時30分～17時00分)

高田中学校 電話591-4183

学校評価アンケート、横浜の給食試食会など、保護者返信が必要な内容をCocooにて学校よりご案内しております。学校現場におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)化としてご家庭への連絡が紙からCocooへと変わってきておりますので、ご確認を宜しく願いいたします。